



友好の地オランダを訪問 生徒10人が友情の輪広げる

町ジュニア海外使節団員としてオランダを訪問した中学生八人と高校生二人は、一月五日から十五日までの日程を終え元気に帰ってきました。江戸時代にオランダ船ブレスケンス号が山田湾に漂着したという史実が縁で始まった本国と本町との交流。今年で八度目となる生徒のオランダ派遣でした。本国へ渡った生徒は友好都市ザイスト市での滞在を中心に、現地の人たちとの触れ合いを通じ、町と本国との間に新たなページを刻みました。今回はその交流の様を体験談とあわせて、様に参加した生徒たちの体験談とあわせて、統導した山田中学校の高村美香子教諭がリポートします。



交流の様をリポートする統導の高村美香子教諭



団長の佐藤保校長



団員に恵まれ心に 残る思い出の旅に

山田高 田村 将君

今回のオランダ滞在はとても充実したものになりました。特にホームステイでは、一緒にサッカーをしたりゲームで遊んだりしてとても楽しかったです。ホームステイ初日には、ホームステイ先のフランクとサークル活動に行き一緒に活動。帰りは散歩しながらたくさん話をしました。また、親切に日本語であいさつもしてくれて、うれしかったです。今回は団員のリーダーとして活動しました。至らない点も多々ありましたが、団員の間にはいつでも明るく接してくれて感謝しています。団員に恵まれ、たくさん思い出をつくることができ、本当に最高です。



心と心で通じ合う ことの大切さ実感

山田高 田代 幸恵 さん

わたしはオランダに行く前、自分の話す英語が通じるかととても不安でした。しかし、ホストファミリーがわたしに分かるまで辞書を使いながら丁寧に教えてくれました。また食事には日本食を出してくれるなど、細かいところまで気遣ってくれました。短い期間でしたが一日一日が楽しく、充実した時間を過ごすことができました。気持ちを伝えたくてもうまく言葉にできない時もあったけど、言葉よりも心で通じ合うことが大切だと感じました。文化の違いをいろいろ感じましたが、新たな発見がありおもしろかったです。一生忘れられない思い出ができました。

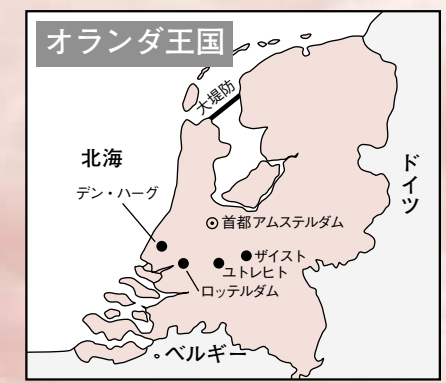
拍手と笑顔の歓迎に感激

使節団は、山田中の佐藤保校長を団長として、豊間根中・山田中の二年生八人と山田高校の二年生二人、そして引率者二人の合計十三人。一行は、一月五日に山田を出発し、翌六日に成田空港からオランダへと旅立ちました。

最初の訪問地は、本町の友好都市であるザイスト市。ここでは七日から十三日までの六泊七日のホームステイを中心に、現

地の人たちと交流を深めました。今回は、団長や引率者のホームステイの期間を増やしたことで、ザイスト市民とのさらなる友好関係を築くことができました。

クリステリック・カレッジでは歓迎セレモニーが行われ、英語による団長のスピーチや生徒たちの自己紹介は、盛大な拍手と笑顔で歓迎を受けました。学校では、英語や地理、美術などの授業に二日間参加し、クリステリック・カレッジの生徒と活動を共にしました。オランダ語の授業では戸惑っていた子供たちですが、体育の授業や放課後に行われたバドミントンやバスケットなどの日蘭混合チームでの交流試合では意気投合して一緒に汗を流すなど、国境を越えた友情が深まりました。



ザイスト市庁舎の表敬訪問では、市の幹部と使節団員が活発に意見交換。翌日の市内見物では、美しいザイスト城で市長とお会いすることができました。

ホームステイでは、温かいもてなしの中で、オランダの家庭の味や生活習慣を体験。ご飯やみそ汁を用意してくれた家庭もあり、オランダ人の歓迎の精神を肌で感じました。

正直言って不安はありました。言葉や生活習慣の違いなど不安を抱えたままの出発でした。でもホストファミリーと初めて顔を合わせた時、言葉の壁など不安は無くなりました。ママに「しゃべり過ぎてのどが痛くない？」と言われるほど夜遅くまで日本の文化などいろいろな話をしました。充実したオランダでの生活ができたのは、ホストファミリーのおかげだと感謝しています。いつかまたオランダに行ってみたいです。それまでにしっかり英語の勉強をしたいと思えます。そしてオランダで学んだ素晴らしい文化をみんなに伝えていきたいです。

十日夜には、さよならパーティーが開かれ、ホストファミリーの皆さんの手料理をいただきながら楽しいひとときを過ごしました。会場では、歌の交換も行われ、全員で「上を向いて歩こう」「世界に一つだけの花」などを合唱し会は最高潮。最後は、お世話になったホストファミリーに感謝の花束を贈り、別れを惜しみながら握手を交わすなど思い出深い夜となりました。

オランダの文化を みんなに伝えたい

山田中 阿部 智 紘 君



正直言って不安はありました。言葉や生活習慣の違いなど不安を抱えたままの出発でした。でもホストファミリーと初めて顔を合わせた時、言葉の壁など不安は無くなりました。ママに「しゃべり過ぎてのどが痛くない？」と言われるほど夜遅くまで日本の文化などいろいろな話をしました。充実したオランダでの生活ができたのは、ホストファミリーのおかげだと感謝しています。いつかまたオランダに行ってみたいです。それまでにしっかり英語の勉強をしたいと思えます。そしてオランダで学んだ素晴らしい文化をみんなに伝えていきたいです。